

ねがたびと

発行日 令和6年2月26日
発行者 袖ヶ浦市根形公民館
〒299-0255
袖ヶ浦市下新田 1277
TEL 0438-62-6161

題字：降矢玄龍先生

二十歳を祝う会を開催！！

令和6年1月7日(日)、根形地区二十歳を祝う会を根形公民館視聴覚室にて開催しました。当日は、32名の二十歳や保護者、恩師、来賓等が出席し、厳粛な中にも心温まる式となりました。

式典終了後の記念行事では、二十歳を祝う会実行委員自身が企画・運営し、保護者も交えて、恩師から思い出話や将来への励ましの言葉をいただいたり写真撮影などして、中学校時代を懐かしみながら旧交を温めていました。

また、昨年好評であった撮影スポットとして、青少年相談員の協力のもと、今年も立派なパネルが設置され、友達同士だけでなく、保護者も一緒に笑顔で撮影している姿が印象的でした。以下に、二十歳代表の言葉（抜粋）を掲載します。ご一読ください。

私達が根形中学校を卒業してから5年という月日が経とうとしています。式典を機に、同級の友達やお世話になった先生方との出会いが叶い、当時のことがまるで昨日のこのように思い出されます。私達は他学年に比べ人数が少なく、小学校6年間はずっと1つのクラスで過ごしてきました。中学校に入学して、初めてのクラス分けを経験し、嬉しいような複雑な気持ちになったことを今でもよく覚えています。人数が少ない分、行事や委員会活動などにおいて、1人ひとりの負担が大きいと感じたこともありました。しかし、9年間共に過ごし培ってきた仲間との絆や信頼関係で、お互いに助け合い、時には意見が対立し言い合いをしながらも「より良いものを創り上げたい」という思いで1つになれたことは、今でも良い思い出です。

私は今、看護師という夢を叶えるために日々学んでいます。今年度からは、病院での実習が始まり1人の患者さんを受け持ち、この方にはどのような援助が必要なのか、どのような思いを持っていらっしゃるのかを考えながら関わっていくうちに、私の言動1つひとつが患者さんの気持ちや容態に大きく影響を与えることを知り、社会人として生きることの責任の重さを痛感しました。ここで20歳になった皆さんに質問です。この言葉を覚えていますか。『ABC 当たり前のことを、馬鹿にせず、ちゃんとやる』この言葉は、お世話になった校長先生がおっしゃった一言です。私は初めて聞いた時からずっとこの言葉が心に残っていて、以来、日々の生活の基礎になっています。私達がこれから進む道はそれぞれですが、困ったときには助け合える仲間がいます。支え合い『基本』を大切にし、社会に貢献できる立派な大人になれるよう、精進していきたいと思います。

二十歳代表 長谷川光海 さん

※二十歳代表の言葉より抜粋

二十歳を祝う会 フォトメモリアル 📷



恩師との交流会

おめでとう
ございます

二十歳代表挨拶の
長谷川さん



司会進行の笹田さんと鈴木さん



撮影スポットにて



ねこまろ スタッフ募集中!

ねこまろがスタートして早10年。その間、新型コロナウイルス感染症の発生により活動内容が制限される中でも、通常版の他、ハロウィンパーティーやクリスマスパーティー等の特別版を実施してきました。これらの企画・運営にあたってN.O.C (大学生を中心とした若者のグループ) メンバーが大活躍しています!

ともに活動してみませんか? 興味関心のある方は、根形公民館に遠慮なくお問い合わせください。

サークル作品展を開催します!

3/9(土)~
3/17(日)



根形公民館で活動するサークル【陶芸・絵画・書道】や公民館講座の教室生による作品展を多目的ホールにて開催します。技術と感性も磨いた1年間の創作活動の集大成は見応え充分! ぜひ足をお運びください。

※時間 午前9時~午後4時

根形地区地域防災訓練を開催しました！

12月3日（日）午前、根形公民館にて『迫る災害に備えた地域住民の防災意識の向上や避難所設営に必要な知識・技術の習得、避難所運営に協力できる人材育成』を目指し、地域防災訓練を開催しました。8時30分に袖ヶ浦市全域に震度6弱の地震が発生したことを想定し、根形地区各自治会の役員等、総勢52人が根形公民館に避難しました。

まずは、避難者カードに記入し、多目的ホールで避難所設営訓練として、自治会ごとにダンボールベッド、パーティションの作成・設置をしました。その後、公民館に設置されている災害時用備蓄倉庫に移動し、倉庫内の備蓄品の確認及びかまどの使用訓練を行いました。

また、同時並行で各地区1名を指定し、調理実習室で防災クッキングとして、^{さば}鯖の味噌煮缶を使ったトマトカレーライス作りを実践しました。作り方の説明を教わって、実際にパッククッキングによるカレーとご飯を作り始めると、60分以内に出来上がり、当日の訓練参加者全員で試食をしました。「意外とおいしく、しかも簡単にできるんだ」などの感想が出され、誰でも簡単に災害食を作ることができると実感しました。

この防災訓練での経験が、災害時等で生きてくれるとありがたいです。なお、詳細を知りたい方は根形公民館までお問い合わせください。

避難所設営訓練



カレーライス作り



かまどの使用訓練



書き初め教室を開催しました！

12月25日（月）午前、根形公民館視聴覚室（小5、小6）と講義研修室（小3、小4）にて、書き初め教室を開催しました。根形小の児童20名が参加し、根形公民館で活動している降矢玄龍先生と書道サークル「望陀書友会」の方々が講師となり、子どもたちは、冬休み中の課題として出された書き初めに真剣な眼差しで取り組んでいました。どの子どもも、講師のアドバイスをしっかり受けて、書く枚数を重ねるごとに作品も上達していきました。

およそ1時間で書き上げた作品の中から、良い作品を先生に選んでいただき、氏名を書き出来上がりました。



講師の降矢玄龍先生



古墳のはなし④ –古墳の終焉、そして火葬墓へ–

郷土博物館 西原崇浩

古墳

といえば、誰しものが前方後円墳をイメージするかと思いますが、東日本の前方後円墳は7世紀初頭頃を最後に造られなくなります。西日本では、すでに6世紀末葉には造営が停止されています。

このように、古墳の象徴的存在であった前方後円墳の造営停止は、おおよそ日本列島の出来事ととらえられるので、ヤマト王権の強い規制の影響があった結果と考えることができます。それ以降の古墳は、四角い方墳や円墳が造られ続けていることから、古墳の形に対する規制の可能性が高いです。ちょうど推古天皇の治世時に重なります。天皇の施策にその規制が関係しているのかもしれませんが。

袖ヶ浦市のこの頃の前方向後円墳は、滝の口の上谷田1号墳、椿9号墳などがあり、7世紀中葉ごろの方墳は、雷塚1・2号墳や西ノ谷下遺跡、堂庭山B遺跡で発見されています。

方墳

は、8世紀前後まで造営され続けますが、その規模は次第に小さくなり、古墳としては終わりを迎えることとなります。その間に、一つの歴史的な出来事が起こります。有名な大化の改新(乙巳の変: 645年)です。この変の中心人物であった中大兄皇子は、この後に「薄葬令」という法律を發布し、古墳(王族・官人の墓)に対して

事細かに制限を設けました。7世紀後半には明らかに古墳の規模が小さくなっていますので、この薄葬令が古墳造営停止につながったものと考えられます。

さらに、ちょうどその頃には、列島各地の豪族によりお寺が建設され始めています。お寺の建立も古墳に変わる象徴的な存在になったことでしょう。

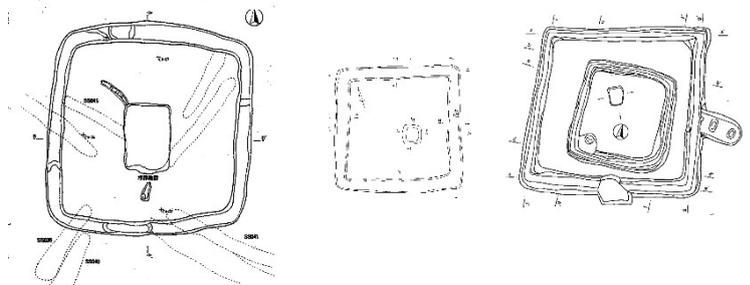
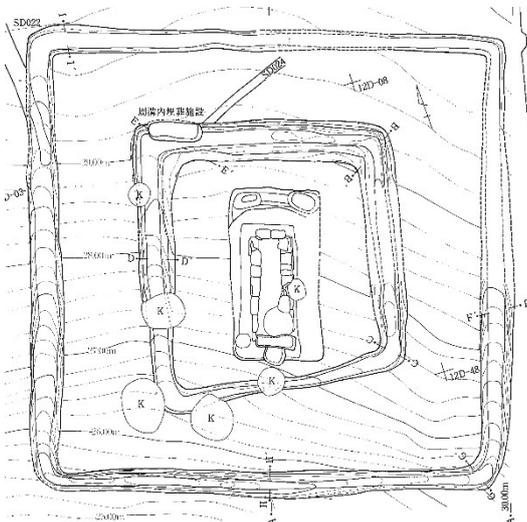
袖ヶ浦市には、この頃のお寺はありませんが、木更津市大寺に「上総大寺」と呼ばれるお寺が建立されていたことがわかっています。

この頃の市内の古墳は、根岸古墳群や神納の谷ノ台遺跡で発見されています。

古墳は消滅

していきませんが、8世紀前半には、仏教思想の影響を受けた火葬へ埋葬様式に変化し、古墳に用いられていた手法を取り入れた「方形区画墓」という墓制が出現します。

この墓制は、方墳のような四角い溝(周溝)を巡らし、その中央部に火葬した骨を埋葬するものです。古墳との大きな違いは、墳丘をほとんど持たないことと火葬骨を埋葬することです。このような墳墓の数は少なく、古墳と同じ場所に造られることもあるので、有力者やムラの長、僧侶などが埋葬されたのではないかと考えられます。



左より
方墳 雷塚2号墳 一辺約10m(内側)
方墳 根岸M018 一辺約9m
方形区画墓 打越岱009号址 一辺約6m
方形区画墓 嘉登第2号方形区画墓 一辺約5m(内側)
(図縮尺1:400)